



編集・発行 / 社会福祉法人出水市社会福祉協議会
☎0996-63-2140

出水市平和町97番地（出水市社会福祉会館）
URL <http://www.shakyo.or.jp/hp/1735/>

北薩地区社会福祉協議会災害時相互応援協



『災害時相互応援協定を締結』

（詳しくは2Pをご覧ください）

P 2…北薩地区社会福祉協議会災害時相互応援協定締結式

P 3…平成25年度鹿児島県地域福祉推進大会

小地域福祉ネットワーク代表者及びアドバイザー合同研修会

P 4…赤い羽根共同募金、街頭募金運動

P 5…平成26年度共同募金地域活動助成募集

P 6…とれたて新鮮情報 われらすてきな大家族・仮屋自治会防災訓練

県内初!! 北薩地区の社会福祉協議会 災害時相互応援協定を締結

災害時に災害ボランティアセンター等の運営支援に職員派遣や資材の提供なども

北薩地区社会福祉協議会災害時相互応援協定締結式



災害時相互応援協定の背景

近年、大規模災害が全国各地で頻発しています。その都度、被災地において市や社会福祉協議会が設置する災害ボランティアセンターは、被災地の復旧・復興には欠かすことのできない存在となっています。また、災害ボランティアセンターを迅速かつ円滑に、継続して運営していくためには、被災地の社会福祉協議会を支援する多くのスタッフの応援協力が求められています。

こうしたことを背景に、当会を含む阿久根市社協・長島町社協・さつま町社協・薩摩川内市社協で構成される北薩地区社会福祉協議会では、県下他地区に先がけ、九月九日（月）長島町開発総合センターにおいて、災害ボランティアセンターの運営（災害救援活動）についての災害時相互応援協定を締結しました。

この締結により、今後、大規模災害時等の必要に応じた職員の派遣、支援の体制や仕組みづくりが整い、被災地の災害ボランティアセンター運営において大きな力を発揮することが期待されています。



5社協会長同士が握手



協定書に署名押印

平成二十五年年度

鹿児島県地域福祉推進大会

平成二十五年十一月五日に地域福祉に関する県民の理解と関心を高め、「誰もが住み慣れた地域で安心して心豊かに暮らせる社会」の実現を目的とした鹿児島県地域福祉推進大会が、鹿児島市民文化ホールで開催されました。

大会では、地域活動に功績のあった個人及びボランティア団体の表彰、「今求められる地域における子育て支援」と題した記念講演のほか、十一月十一日(いい日・いい日)「介護の日」についても周知されました。

また、第二部の子育て支援

◎大会における本市の表彰者

順不同(敬称略)

鹿児島県社会福祉協議会会長表彰

民生委員・児童委員功労

松尾 時雄

社会福祉事業施設の長及び職員

鶴水園 小幡美枝子

// 池上とも子

中央募金会会長感謝状

多額の篤志寄付者 富永 義一

// 田中スエコ



実践発表する下村氏

フォーラムにおける「地域の支えで安心して子育て」と題したパネルディスカッションでは、鹿屋市とともに出水市の子育て支援活動を紹介しました。

本会職員と「子育てサロンビバスマイル」の実践者である子育てサポーター下村佳代子氏が、「地域住民の協力を得ながら子育ての輪を広げ、優しく見守る地域の気運づくりを」と事例を交えながら実践報告を行うと、その後会場では活発なディスカッションが行われました。

平成二十五年年度

小地域福祉ネットワーク代表者及び在宅福祉アドバイザー合同研修会開催

平成二十五年十月二十二日・二十三日に高尾野老人センターと出水老人センター、二十五日に野田老人センターで小地域福祉ネットワーク代表者及び在宅福祉アドバイザー合同研修会を開催し、百九十七名の方が参加されました。

今回は、出水市社会福祉協議会ボランティア有志の方々で活動している、劇団「とんぼ」による『振

り込め詐欺』等の啓発劇を行いました。

小地域ネットワークとは、一人暮らしのお年寄りやお年寄り夫婦だけの世帯、一人では生活困難な心身の不自由な方々などを地域住民みんなの協力により見守り支援していく活動です。在宅福祉アドバイザーとは、小地域福祉ネットワークの取りまとめ役です。



赤い羽根共同募金運動に ご協力をお願いいたします!

住民相互の支え合い活動として、たくさんの方々の助けあい精神に長く支えられている「赤い羽根共同募金」は、住民が安心して暮らすことができる福祉のまちづくりのための様々な活動の貴重な財源として、地域の福祉のために使われています。

平成25年度 赤い羽根共同募金運動期間は

平成25年10月1日から12月31日まで

赤い羽根共同募金は「自分の町を良くするしくみ」



じぶんの住む町が好き、だから、ずっと住み続けたい町。そんな気持ちを、ささえるしくみが赤い羽根。たくさんの人々のやさしさが、共同募金を支えています。

平成24年度 共同募金配分金事業報告
8,333,000円

障害者福祉活動として
225,739円 (3%)

- たんぽぽ料理教室
- 聴覚障害者協会へ助成
- 手をつなぐ育成会へ助成
- 身体障害者協会へ助成

地域福祉活動として
3,323,023円 (40%)

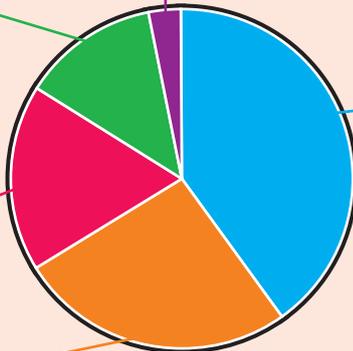
- 民生委員児童委員協議会へ助成
- ボランティア連絡会へ助成
- 更生保護女性会へ助成
- 災害見舞金配分事業
- 行路困窮者旅費配分事業
- 移動式ベンチ設置事業
- 貸出用物品整備事業
- 地域福祉活動助成事業
- ボランティア保険補助事業
- ボランティア講座
- 在宅誕生日プレゼント事業
- 命のカプセル事業

社会福祉イベントとして
1,086,383円 (13%)

- ボランティアフェスタ
- 介護食の料理教室
- さあのはらへいこう上映会

高齢者福祉活動として
1,494,617円 (18%)

- 老人クラブへ助成
- いきいきサロン事業
- ますらお料理教室
- いきいき支援事業



児童・母子寡婦福祉活動として 2,203,238円 (26%)

- 母子寡婦福祉会へ助成
- 交通遺児援助事業
- 子育てサロン事業
- ボランティア体験学習
- 小・中・高・養護学校へ助成



平成二十五年十月五日に市内十六か所のスーパー等の協力をいただき、各店舗の店頭において、社協役員、出水高校、出水中央高校、出水商業高校、出水工業高校、高尾野中学校、江内中学校、野田中学校の生徒、一般ボランティア、社協職員で赤い羽根街頭キャンペーン及び募金活動を実施し、二十九万四千九百五十一円に及ぶ浄財をお寄せいただきました。皆様のご協力に感謝いたします。

赤い羽根共同募金街頭募金運動

まちがいさがし



☆まちがいは7つ☆

平成26年度 共同募金地域活動助成事業 **募** **集**

出水市社会福祉協議会では、地域活動に取り組む団体やボランティアグループを応援するため「公募」により活動資金を助成します。地域での福祉活動または福祉に関する様々な分野で、住み良いまちづくりにつながるような活動を行っている団体やボランティアグループを応援いたしますので、ご応募ください。



低座椅子整備 (野平自治会)

Q1.どこからの助成なの？

出水市社会福祉協議会が「公募」により活動資金を助成します。原資は皆様から寄せられた共同募金の配分金です。

Q2.誰でも応募できるの？

市内の団体やボランティアグループ、自治会等です。ただし、共同募金活動（募金活動や街頭募金など）に協力していただけることが応募条件となります。



自治会倉庫作り (不動野自治会)

Q3.どんな活動が対象になるの？

地域における福祉活動全般です（下の事業例示をご覧ください）。ただし、単年助成ですので経常経費は対象となりません。



グリップコール整備 (西町自治会)

Q4.いくらまで助成してもらえるの？

事業費の4/5以内で50,000円が限度です。ただし、申込みが多い場合は減額する場合があります。

Q5.毎年応募できるの？

できません（昨年度、助成を受けてない団体が対象となります）。なお、以前申請した同じ内容での応募もできません。



和式から洋式への改修 (津山自治会)

Q6.応募はどうすればいいの？

各自治会には、申請書を送付してあります。その他の団体、ボランティアグループは、出水市社会福祉協議会本所・各支所に実施要綱・申請書が設置してありますのでご相談ください。

Q7.申請期間はいつまで？

平成26年1月17日(金) 午後5時15分までです。

(事業例示)

例1：自治会行事（運動会など）の参加者で足の悪い方がいるので、公民館にも車いすを整備し、少しでも参加しやすい環境づくりをしたい。

例2：自治会で次年度から地域活性化のため新たに文化祭を計画しているが、自治会の助成だけでは資金が足りないため助成をお願いしたい。

例3：自治会で高齢者や介護を必要とされる方の安否確認等のために簡易型緊急通報装置（グリップコール）を設置したいので助成をお願いしたい。



遮光カーテン設置 (大丸自治会)



壁掛け扇風機設置 (上特手自治会)

詳しくは、出水市社会福祉協議会までご連絡ください。

本所 ▶ TEL 0996-63-2140 高尾野支所 ▶ TEL 0996-82-4850 野田支所 ▶ TEL 0996-84-2066

とれたて新鮮!! 地域の話題コーナー

われら すてきな大家族

大好きなひいばあを囲んで



★池田さん一家★

このコーナーでは、三世代、四世代で一緒に子育てを楽しみながら生活されている大家族をご紹介します。

今回は、高尾野町麓自治会にお住いの池田トミ子さん一家。

90歳になるトミ子さん、息子の宗隆さん(63)、美子さん(55)夫妻、孫の隆一さん(32)、美沙希さん(32)夫妻、ひ孫の一葵君(7)、啓冬君(4)、空生君(1)の4世代8人で同一敷地内に家を立て生活されています。

一葵君たちから「美子ちゃん」と呼ばれる美子さんは美沙希さんに「嫁というより娘のように思えます。」と、美沙希さんも「男の子3人大変だけど毎日笑って過ごしています。」と楽しそうに話されました。ボランティアにダンスにと、まだまだ積極的に活動されるトミ子さんは「こんなに間近でひ孫の成長を感じられることが幸せです、私の元気の源で生きがいなの。」ととびきりの笑顔で話してくださいました。

仮屋自治会防災訓練

平成25年10月27日㊿

“地域の安全はみんなで守る”という意識の高揚を目指し、いつ来るかわからない災害に備え、いつ如何なる場合でも対処できる事を目的に仮屋自治会で防災訓練が行われました。

震度6強の地震発生。家屋の倒壊に伴う火災が発生したとの想定で、消防署への通報、負傷者の救出、火災消火訓練など自治会員他86名の参加者は、各班に分かれ訓練を行いました。

また、日本赤十字社出水市赤十字奉仕団による非常食の炊出し訓練も合わせて行いました。ハイゼックス(非常用炊飯袋)を使用した100食のご飯作りを、奉仕団の指導のもと、婦人部を中心に参加者にも体験していただきました。

実際に試食して、「野外で皿や箸がなくても食べられる。」「熱々で寒い時期にはカイロ代わりにもなって便利」などの感想がありました。



奉仕団による炊出し訓練



消火訓練



毛布を使った簡易担架の作り方



ロープを使つての避難誘導

『とれたて新鮮!! 地域の話題コーナー』では、ホットな情報を募集しています。おもしろい話題、ホットな情報をお持ちのあなた、ぜひ社会福祉協議会までご連絡ください。

連絡先 本所 ▶ 平和町97番地(出水市社会福祉会館内) ☎0996-63-2140
高尾野支所 ▶ 高尾野町大久保16番地1(高尾野老人センター内) ☎0996-82-4850
野田支所 ▶ 野田町上名6042番地(野田老人センター内) ☎0996-84-2066

まちがいさがし こたえ

